

平成 28 年 6 月 17 日

経済産業省製造産業局  
 化学物質管理課  
 課長 山内 輝暢 殿

日本 ABS 樹脂工業会



アクリロニトリル排出削減取組状況と今後の対策について

これまでABS業界各社は、大気汚染防止法の有害大気の指針値以下とするべく、これまでも下記の取組を行い、アクリロニトリルの排出削減に努めてまいりましたが、今般のアクリロニトリルのばく露評価・リスク評価の結果を受けまして、今後もアクリロニトリルの排出削減策を継続し、排出削減に向けて検討していきます。

1. アクリロニトリルの排出削減実績(平成 13 年度基準)

年 度	大 気 排 出 量 (kg/年度)	排 出 削 減 率 (%)
平成 13 年度	288,800	—
平成 14 年度	281,150	2.6
平成 15 年度	249,300	13.7
平成 16 年度	144,370	50.0
平成 17 年度	119,340	58.7
平成 18 年度	110,380	61.8
平成 19 年度	102,990	64.3
平成 20 年度	87,530	69.7
平成 21 年度	93,630	67.6
平成 22 年度	66,300	77.0
平成 23 年度	52,150	81.9
平成 24 年度	51,630	82.1
平成 25 年度	63,400	78.0
平成 26 年度	53,940	81.3

(注)ABS 樹脂以外にも製造している工場分の AN 排出量は、ABS に係る AN 排出量のみを区分計上できない為、当該工場全体の AN の排出量を計上。

## 2. これまでの削減対策

これまでに実施してきたアクリロニトリルの削減対策は以下の通りです。

- 製造プロセスにおける AN 含有排ガスの捕集強化
- AN 含有排ガスの燃焼設備の設置（焼却処理）
- 重合条件の変更による残留 AN モノマーの低減
- 設備のシール強化

以上